

平成 28 年度 第 2 回常任委員会議事録

- 1 期 日；平成 29 年 2 月 3 日（金）・4 日（土）
- 2 会 場；岡山県岡山市・ピュアリティまきび
- 3 出席者；釜井部長、池田副部長、雨尾、小原、中村、安藤、大槻、豊田、村田、松本、市ヶ谷、和田、伊勢、恒松、平、多田、藤本(山梨)
- 4 議事
 1. 挨拶；全国高体連 F 部長（釜井）
 2. 大会運営について
 - ①第 41 回全国高等学校選抜大会（山梨大会）

進捗状況について（別紙プリント参照）

 - ・実施要項、会場（競技会場・諸会議場等）、「競技について」と違反と罰則、メンバー表、交通アクセス、役員輸送計画、式典次第、競技役員について説明が行われた
 - ・表彰授与者については、開催地関係者を優先し、埋まらない分を全国高体連から出す。持ち帰って検討してほしい
 - ・全国高体連から出す競技役員は、DT に安藤、伊勢、松本、恒松、同志社大学の藤澤先生、事務局長に村田、事務局次長に豊田、多田、用具検査官に平、ピスト指導員に和田、大槻、以上でお願いしたい
 - ・エペ、サーブルの表彰は、同時に行うので予定の倍の人数が必要になると思う
 - ・要項 4 ページに記載されている持ち回り準優勝盾はフルーレのみなので、監督会議で以下のように訂正する
→訂正「各種目二位校に盾、賞状を授与する。（フルーレのみ持ち回り準優勝盾）」
 - ・表彰時間がフルーレ 14 分となっている。エペ、サーブルも 14 分というのは短くないか？
→再調整する
 - ②平成 29 年度全国高等学校総合体育大会（宮城大会）
 - ③第 42 回全国高等学校選抜大会（石川大会）
 - ・進捗状況について
両大会とも順調に準備が進んでいるとの報告が行われた
 - ④プログラム編成会議
 - ・資格審査について
今回、男女の監督を一人で兼ねているチームがある。監督が試合中でコールに対応できない状況が発生する恐れがある。その場合は、特例として関東選抜大会で実施されたチームキャプテンにコールを代行させることで対応する。これを技術委員会で検討する
 - ・抽選手順の確認
 - ・プログラム編成は滞りなく終了する
 3. 報告事項
 - ①平成 28 年度行事報告（安藤）
 - ・28 年度行事について報告が行われた
 - ②競技委員会報告（伊勢）
 - ・第 2 回競技委員会について報告が行われた
 - ③強化普及委員会報告（恒松）
 - ・28 年度フランス指導者講習会について説明・報告が行われた
 - ④平成 28 年度全国高体連報告 後期（釜井）

- ・32年度インターハイ開催地を京都府に働きかけてきたが、京都府より開催できないとの返答があった。本専門部としては、次の候補地を検討しなければならない状況になっている
 - ・インターハイ特別基金について
- ⑤平成28年度日本フェンシング協会報告 後期（釜井）
- ・JOC 返還金について
 - ・強化本部長に敷根裕一氏が就任した
 - ・3月に理事の改選がある

4. 協議事項

- ①平成29年度行事予定案について（安藤）…承認
- ・29年度行事予定について説明が行われた
 - ・29年度以降の大会開催地について、情報交換を行う
- ②平成29年度予算案（恒松）…承認
- ・29年度予算の概要について説明が行われた
- ③競技委員会提案事項（伊勢）…承認
1. サーブルの開始線変更について（別紙資料）
 - ・日本F協会の通達通りに実施したい
 2. フルーレの肩の転移について（別紙資料あり）
 - ・上記同様に日本F協会通達の通りに実施したい。また審判会議でも確認をしたい
 3. サーブルグローブについて
 - ・安全基準の800Nについては、日本F協会でも対応ができていない。競技委員会では4月以降に採用するとしていたが、実際には無理であるため採用を見送ることにしたい。グローブとカフの一体化も見送る
- ④総務委員会提案事項（安藤・和田）…承認
1. 規約規程集の改正について（別紙資料あり）
 - ・補則6大会の「競技について」の2. 全国高等学校選抜大会〔5〕(4)②の変更について
 現行；何らかの理由で2名になった場合、そのチームは棄権とし最初から出場していなかったものとする
 変更案；何らかの理由で選手が2名になった場合、その試合は負けとなる
 2. 29年度登録方法についての提案及び現状報告
 - ・現行は、全国高体連登録と日本F協会登録に分けて登録している。これを統一できるように日本F協会の登録担当と協議している。できれば次年度から採用したい
 →問題点を洗い出し十分に検討したのちに導入しても遅くはない。次年度は、高体連登録番号をやめ、日本F協会登録番号に統一する。登録の締め切りを5月末とする
- ⑤強化普及委員会提案事項（恒松）
- ・来年度の指導者研修会は国内で実施する予定であるが、期日や講師、内容については現在調整中で未定である。今後のことは、恒松委員長に一任する
- ⑥その他
1. 東海ブロックより
 - ・全国選抜大会の出場校について
 県内の代表を重んじるのではなく、ブロックで強い学校を選出できるようにしてほしい
 →全国高体連の規定で、代表は各県1校となっているため提案を採用することはできないことを全国委員会で説明する
 2. 日本F協会からの請求について
 - ・JOC 返還金を日本F協会理事が応分に負担することになり、全国高体連の代表として理事に登録している釜井先生にも返還金の請求が来ている件について、経緯と現状について説明が行われた
 3. 伊勢競技委員長より

- ・全国選抜大会種目エントリーの方向性について、今後競技委員会で検討していきたいので意見があれば出してほしい

5. 役員改選について

- ・規約に従って、地区常任委員が釜井部長を推薦することに一致した。また副部長人事については、釜井部長に一任する
- 釜井先生の承諾を得る。副部長については3名体制（根岸・諸江・安藤）に戻すこと、部長指名も今年度に引き続いてお願いすることも承認された。日本協会正会員は安藤、日本協会理事については保留
- ※釜井部長の再任、副部長3名、部長指名、監事、日本協会正会員・理事を全国委員会へ提案する

6. 選抜出場校、29年度登録について確認を行った